



明けましておめでと〜うございませす

院長 吉田 良一（前列右から2番目）

昭和55年より「済生会関東ブロック親善ソフトボール大会」が毎年行われています。昨年は16病院が参加し、第32回の大会が明治神宮外苑で開催されました。当院は常に優勝争いをする強豪チームですが、昨年は残念ながら優勝にからむことはできませんでした。今年は捲土重来を期し、是非優勝旗を宇都宮に持ち帰りたいと思っております。

副院長(兼)救命救急センター長 小林 健二（前列左端）

還暦を超えて、まもなく1歳になろうとしています。体力は少しずつ低下傾向にありますが、新しく生まれかわったつもりで、毎日を過ごしていこうと思っております。

副院長(兼)麻酔科診療科長 河村 文夫（後列右から2番目）

昨年の4月に腰部椎間板ヘルニアを発症しまして、歩行が困難なため車いすに乗って仕事をしていました。原因は運動不足、再発を防ぐため早朝のラジオ体操、ウォーキング、水泳と体を動かすよう努めています。今年はさらに食事にも気を配り、さらなる健康増進をはかろうと思っております。

副院長(兼)診療部長 本多 正徳（前列右端）

新年おめでとございます。安全で信頼できる医療を提供し続けられるように医師はもちろん職員一丸となって努力を続けて参ります。今年も宜しくお願ひ申し上げます。

副院長兼循環器内科診療科長 野間 重孝（後列左から2番目）

あけましておめでとございます。今年も元気で頑張りたいと思っております。よろしくお願ひいたします。本年が皆様にとりまして良い年になりますことを祈り申し上げます。

副院長(兼)看護部長 渡邊 カミ子（前列左から2番目）

未来を見据えつつも、足元をしっかり固めながら一歩前進の年としたいと思います。患者さまからも、医療職からも、選ばれたる病院づくりに取り組んでいきたいと思っております。今年もよろしくお願ひいたします。

副院長 北條 昌一（後列右端）

職員の満足する職場環境は、患者さんの満足する環境に繋がる。施設利用推進計画に沿って進めます。16年ぶりにゴルフを再稼働させました。以前のスコアーに早く戻したい。

事務部長 大塚 俊男（後列右から3番目）

今年も当院が、地域医療支援病院として、地域医療の連携と患者さまにご満足いただける医療サービスが提供できるよう、その環境整備に取り組んで参ります。

薬剤部長 山下 博一（後列左から3番目）

明けましておめでとございます。昨年、怪我をして入院して改めて家族のありがたさを認識させていただきました。患者御本人以上にご家族のご協力に感謝を込めて、今年もよろしくお願ひします。

医療技術部長 亀和田 均（後列左端）

今年の抱負は「何でも言い合える、明るい活発な職場づくり」とメタボ対策としてウエスト5cm削減かな、がんばります。



経営幹部の皆さんに質問です！
「今年の抱負は何ですか？」



※写真とあわせてご覧ください。

2月27日

ちょこっとメモ

新選組の日

1862(文久2)年のこの日、京都で江戸幕府が武芸にすぐれた浪士を集めて結成した武力組織、新選組の前身である壬生組が結成されました。最盛期には約200人にふくれた隊士たちが生活する屯所では、食事や排便等の処理が難になり、不衛生な環境から風邪や食中毒などで体を病み、出動できない者が多くいたそうです。後に、医師の指導により風呂や病室を整え、豚を飼育して食べるようになりますが、衣食住の環境をきちんと整えることが健康を維持するためにとても大切だということが、この時代の話からもよくわかりますね。

編集後記



みやのわ
編集スタッフの



新年号は病院の経営陣全員が表紙写真を飾りました。おそろしく初めての試みで、撮影が終わるまで不安でした。撮影は会議が始まる前の時間を利用して行いました。皆が緊張し固くなる中、カメラマンを務めた委員は持ち前の明るさで元気でその場を和ませてくれました。「皆さん、笑顔でお願いします〜」と一言いながらテーブルに思い切りつまづく姿に、笑顔を超えて一斉に笑いが起こりました。また、書き初めは普段から記事を校正するときも美しい文字を書く委員が何枚も丹精を込めて書き上げた中から選びました。今回の表紙写真の裏側ではこのような編集委員のフィインプレーがあったことを、少しご紹介させていただきます。

編集委員がそれぞれの持ち味を生かし、抜群のチームワークで作り上げる「みやのわ」を今年もどうぞよろしくお願ひいたします。